




ねらい

- 子育ては母親の仕事だ、と思っているお父さんがいたら、それは大間違いであることを認識していただきましょう。本音を語り合う中で、父親として積極的に育児にかかわりたいと感じて帰っていただきましょう。
- 家族で子育てをする良さ、認め合い、いたわりあうことの大切さを再確認できる場となるようにしましょう。

時間	内 容	主 な 活 動	留 意 点
例： 60分 00:10	はじめのこ とば	「みなさん、こんにちは。お忙しいところ、参加いただきありがとうございます。今日は、年齢に応じた“お手伝い”について、考えてみたいと思います。司会の〇〇です。よろしくお願いします。」	◇笑顔で親しみやすい言動に努めましょう。 小道具として「お茶」やちょっとした「お菓子」があるとやわらかい雰囲気を演出し、話も弾みやすくなります。 
	3つの約束 確認	「この会は、ともに楽しく学び合い、みなさんで作り上げていくものです。誰もが『参加してよかった。』と思える会にするために、協力していただきたい3つの約束があります。」 ① 参加 「積極的に話し合いに参加しましょう。全員が参加できるように、協力をお願いします。」 ② 尊重 「お互いの意見や感じ方を尊重しましょう。他の参加者の意見を否定したり、自分の考えを押し付けたりしないようにしましょう。話したくないことは、パスしてもかまいません。」 ③ 守秘 「子育ての交流ですから、個人情報に関わる内容も出てきます。同じ時間を共有する者同士の信頼関係のうえで行われる交流です。決して口外しないようにしましょう。」	◇会を成功させるために、学習を始める前に参加者全員で「3つの約束」を確認しましょう。 ◇一人が話し過ぎないように、時間配分を考えながら、全員に話す機会を回すようにしましょう。 ◇「相手の目を見てうなずきながら聞くとか、相槌を打ちながら聞くなどすると、話す人も嬉しいですね。」と具体的な聞き方を話すと分かりやすいでしょう。 ◇子育て中の親として、家族に関わることも話題になりますが、自由に話してもらうためにも、信頼関係が大切であることを理解してもらいましょう。
	アイスブレイク	「それでは、みなさん、少し緊張していらっしゃるようですので、心と体をほぐしリラックスしましょう。」 バースデーチェーン 1月から誕生日の早い順に並び替える。その際、ジェスチャーなどを使って無言で確認しあう。 －グループ分けをする－（5, 6人） 並んだ順に 5, 6人ずつグループをつくる。	◇アイスブレイクとは、参加者の不安や緊張を氷にたとえ、その氷（不安や緊張）を溶かすという意味をもった活動です。 ◇15ページ「7 アイสบレイクに活用できる簡単なゲーム」 ①参照 ◇グループに男性が入るように調整しましょう。
00:40	ワークショ ップ	「それでは、緊張もほぐれたところで、ワークショップにうつります。」	

		<p><ワーク1> 「ワーク1について、順にワークシートに記入してください。「初めて父親であると実感したときのこと」「お子さんとのかかわりの中で楽しかったことやうれしかったこと」「家事にどのようにかかわっているか」振り返ってみましょう。」</p> <p>「家事・育児のかかわりについて出し合ってみましょう。」</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> • 一緒に遊んでいるときは、楽しいと感じる。 • 時間がなくてなかなか遊べない。 • 家事を手伝いたい気持ちはあるが、時間がない。 </div> <p><ワーク2> 「ワークの図『◇わが子と生涯で一緒に過ごす時間』を見てみましょう。どんなことを思われますか。」 「父親は母親の半分以下の時間しかかかわりがありません。また、小学校卒業までに55%の時間が終わってしまいます。」</p> <p>「父親としてもっとかかわりたい家事・育児を記入してみましょう。そして、グループのみなさんと交流してみましょう。」</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> • 子どもと二人の時間を作ることは、妻の負担を減らすことにもなる。 • 小さい頃のうちに、子どもと一緒に楽しんでできる趣味を見つけたい。 • 子どもと一緒に掃除などの家事をするようにして、一緒にいる時間を増やしたい。 </div>	<p>◇家事・育児についての想起ですから、時間を区切って短時間で記入していただきますよう。</p> <p>◇自由に家庭の様子を話せるように、進行役の方の困っていることや悩んでいることを話すとよいでしょう。</p> <p>◇話している方を見て、うなずきながら、聞くようにしましょう。</p> <p>◇意見が出し尽くされた場合、または意見があまり出ない場合は、資料を配布し、データから一緒に考えるのもよいですね。</p> <p>◇資料のページから、「父子手帳」を引用したり、妻の声などを紹介したりして、家族の一員としての自覚が高まるように促しましょう。</p> <p>◇進行役の方は、工夫をしている方の意見を引き出しましょう。</p>
<p>00:10</p>	<p>ふりかえり</p> <p>おわりのことば</p>	<p>「いかがでしたか。いろいろな意見が出されて、参考になったのではないのでしょうか？」</p> <p>「がんばっている自分を認めてもらえると気持ちが楽になることってありますよね。夫婦もお互いを認め、一緒に子育てしている環境を作っていけるとよいですね。」</p> <p>「みなさん、今日参加されていかがでしたか。昔は『父親の背中を見て育つ』などと言われましたが、今のお父さんたちは、家事・育児に一生懸命参加されていることがよく分かりました。乳幼児期の今は、たくさん愛情を注いでお父さんも育児を楽しんでください。これからもお困りのことがあれば、一人で悩まずにこのような機会を活用してくださいね。」</p>	<p>◇最後は、参加者の日頃のがんばりを認めることのみとし、指示やアドバイスをすることは避けましょう。</p> <div style="text-align: right;">  </div>